

## 第2学年 LHR（道徳教育）学習指導案

日 時：平成21年10月14日（水）

場 所：熊本商業高等学校 武道場

指導者：教諭 西田 浩

1 主題名：おもてなしの心について考えよう

2 主題について

- (1) 礼儀の基本は、相手を一個の人格として認め、相手に対して敬愛する気持ちを具体的に示すことであり、心と形が一体になってはじめてその価値が認められる。したがって、敬愛の気持ちを伝えるためには、相互に承認された一定の形が必要になり、具体的には言葉遣い、態度や動作として表現される。これは、人間関係や社会生活の中で円滑に生きていくために創り出された優れた文化とも言える。

礼儀は時代や社会の在りようによって変わってくる一面を持っているが、一方で伝統として受け継がれていくものもある。その意味で礼儀は我が国固有の伝統として受け継がれてきたものもあり、国の文化であり、日本人としての気持ちの在りようとも考えられる。

高等学校の時期には、礼儀の大切さについては理解し、言葉遣いや行動の仕方もある程度身に付きつつあるものの、従来のしきたりや形に反発する傾向にあったり、照れる気持ちやその場の状況に左右されたりすることも多い。

そこで、生徒一人一人に形の根底に流れる、その意義を深く理解できるようにすることで、相手を人間として尊重する精神を培うとともに、よりよい人間関係を築き集団や社会の中の一員としてよりよく生きようとする態度をはぐくむことが重要である。その中で人間として生きていく上で必要な道徳的価値を主体的に身に付け、固有の人格を形成していくことができるであろうと考える。

- (2) 本学級（国際経済科）は、男子15名、女子25名、計40名で構成されている。

授業に主体的に参加する生徒が多く、学習に対する関心は高い。コミュニケーション能力に優れた生徒も多く、自分たちの考えを積極的に発言することもできる。

これまで生徒は「ビジネス基礎」において、コミュニケーションについての基本的な知識を学ぶ機会を持っている。本年度インターシップの経験を通してあいさつ等のコミュニケーションの大切さを学んできている。

本学習に関する実態調査は、以下の表のとおりである。

質 問 内 容	はい%	いいえ%
① あなたは、校門一礼を毎日していますか。	28	72
② あなたは、あいさつなどの礼儀を大切だと思いますか。	100	0
③ あなたは、相手の気持ちを考えた行動や言葉遣いをしようと心がけていますか。	93	7
④ 熊商デパートへの目標 ・お客様とのコミュニケーションを大切にしたい。 ・感謝の気持ちを伝えたい。 ・きれいな礼の仕方を身に付ける。 ・お客様に、ゆっくりはっきり伝えられるようにする。 ・接客に気を付けたい。 ・しっかりと大きな声で、誰にでもあいさつをしたい。 ・部長としてサポートをしっかりしたい。 ・熊デパを通して、クラスの輪（和）を広げたい。 等		

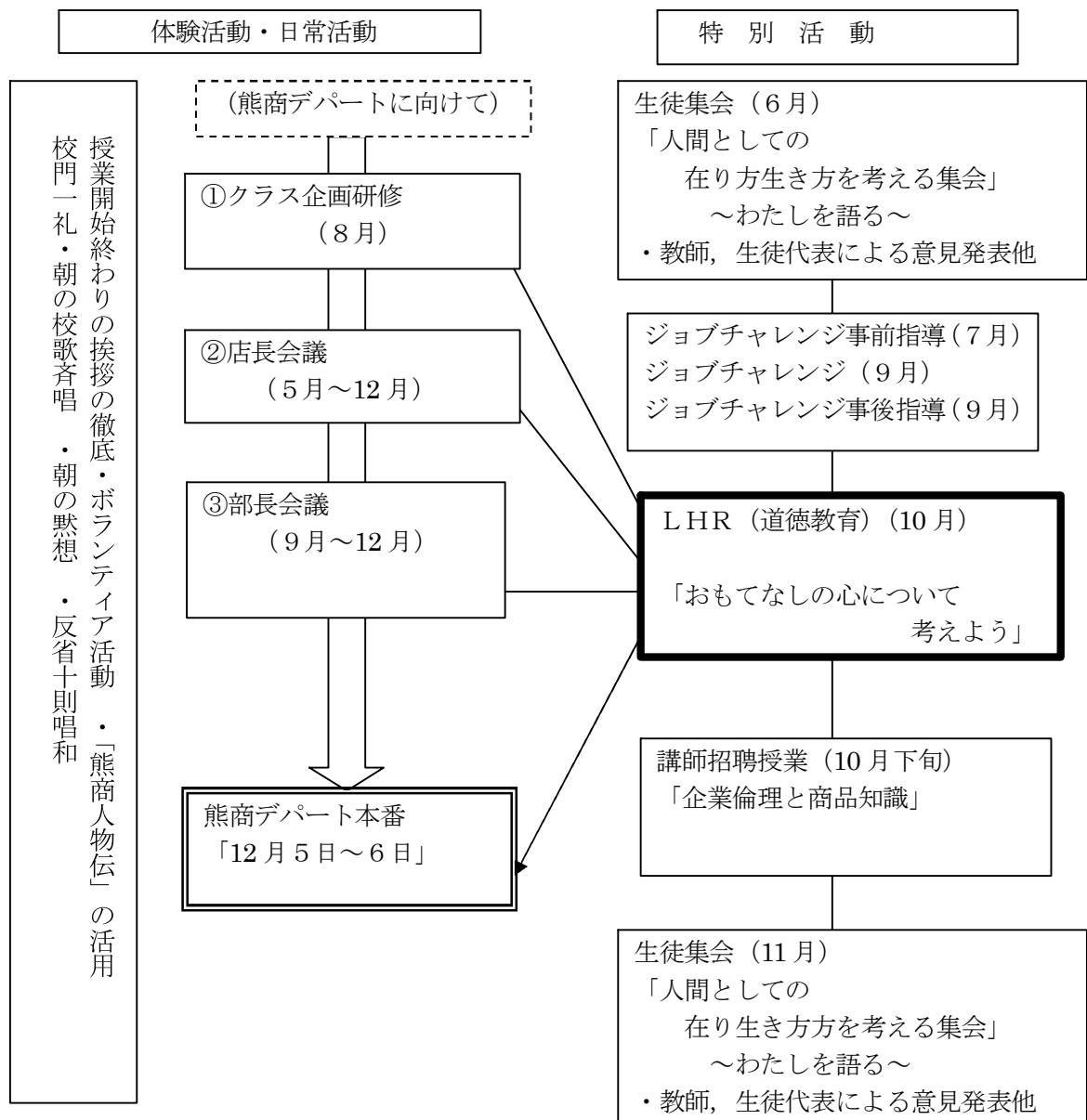
生徒は、あいさつや礼儀の大切さを理解しているが、その場の状況に左右されるなどの理由で実践が十分になされていないことに気付いている。相手の気持ちを考えた言動への意識も高い。しかし、それを表すコミュニケーション能力やその場の状況に応じた表現の仕方などの指導をする必要がある。

生徒にとって2回目の熊商デパートに対する関心・意欲は高く、各自目標を持って積極的に計画・準備を進めている。生徒たちは、お客様（相手）の気持ちを考えた接客の仕方や自分たちの気持ちを伝えるコミュニケーション能力などの向上を多く目標に挙げている。そのことから、おもてなしの意義を理解している生徒が多いと考えられ、今後は実践的な指導をする必要がある。

③ 指導にあたっては、次の点に留意する。

- ・ 熊商デパートと関連させた指導を行うことで、意図的・計画的に教科・領域とも関連を図り生徒の課題意識を高める。
- ・ 資料として、新聞の記事「疲れないデパート」を用い、接客において大切なことについて、生徒に主体的に気付かせるようにする。
- ・ 礼儀の基本的な作法を理解し、実際に実演したり、互いにロールプレイしたりすることを通して、具体的な形で相手に心を伝えることの大切さに気付かせる。
- ・ 昨年度の熊商デパートでの様子をVTRを用いて思い起こさせ、形は理解していても相手に伝えることの難しさを確認させることによって、相手の気持ちを考えた言動の大切さに気付かせる。
- ・ 生徒同士が意見交換し、これまでの自分たちの態度や意欲について考え、これから自分たちがどのように取り組んでいくべきなのか考える時間を設定することで、道徳的価値の自覚を深める。
- ・ 学習のまとめに生徒の心に残る言葉を効果的に提示し、価値の自覚化を図る。
- ・ 授業後、学習の振り返りを行い、自らの意識の変化等をプリントに記述させる。

3 体験的な活動・日常活動，特別活動と道徳教育との関連（ 6月～12月 ）



#### 4 本時の学習

##### (1) 本時の目標

おもてなしの意義を理解させ、相手に対する気持ちを具体的な形に示すことの大切さに気付かせ、相手を尊重しようとする心情と意欲・態度を養う。

##### (2) 本時の展開

過程	学習活動	主な発問 (○) と指示 (◆)	教師の支援	備考
導入 10	1 新聞記事「疲れないデパート」の意味を考える。	○このデパートはどこだろうか。 ○なぜ「疲れないデパート」を目指しているのか。  ○わたしたちのデパートは、何を目標とするのか。	・新聞記事の写真に着目させ、写真のお年寄りの笑顔の理由について考えさせる。 ・デパートが何をを目指しているかを考えさせることによって、接客の心の大切さにふれる。	新聞記事 PC プロジェクタ
展開 30	2 おもてなしの作法を練習する。 (1) 立ち方 (2) 声の出し方 (3) 歩き方 (4) 正座  ・ロールプレイングする。	◆基本の作法を確認します。 ◆(1)～(4)におけるポイントを指示する。 (動かない美しさ、音を立てない作法) ◆接客8大用語を唱和します。	・事前アンケート結果から、努力したい点を確認させる。 ・実演指導では、無駄のない美しい動きの手本をみせる。 ・礼儀作法について基本的な形を繰り返し練習することで、その美しさに気付かせる。 ・礼の意義を表した言葉を提示することで礼について考えを深められるようにする。	
	3 昨年度の熊商デパートのVTRを見る。	◆昨年度の熊商デパートのVTRを見てみよう。 ○何か気付いたことはないだろうか。	・昨年度の熊商デパートのVTRを視聴し、そこでの自分たちの失敗を思い起こさせ、課題に気付かせる。	VTR
	4 接客においての問題点について考える。	◆意見交換をして、課題を発表しよう。	・出された課題は、板書する。	板書
まとめ 10	5 新渡戸稲造の言葉について考える。	○この言葉にどんな意味があるのだろうか。	・新渡戸稲造『武士道』の言葉を書にしたものを効果的に提示することによって生徒に印象付ける。 ・意味についても自分なりに考えさせる時間を設定する。	書のカード
	6 心のこもった座礼をする。	○今の心を礼という形にあわらしてみよう。	・相手を意識した礼をさせるようにする。 ・心と形が一体になった礼をしておもてなしの心についての考えを深める。	プリント